

形名によって据付けが異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください。



この製品は、適用する地域の電圧の違いにより仕様を分けています。地域ごとの仕様が異なります。



Table with columns for '寒冷地仕様' and '標準寒冷(温暖)地仕様', listing various model numbers and their features.

据付説明書 販売店・工事店様用

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しく下さい。この製品は住宅用です。それ以外には使用しないでください。

安全のために必ず守ること

- 警告: 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
注意: 誤った取扱いをしたときに軽傷または火災・感電などの被害が発生する可能性があります。

警告

- 高さとなる場所や直接炎があつたたり、油煙の多い場所、有機溶剤がかかる場所には据付けない
● 改造や必要以上の分解はしない
● 製品の水につけたり、水をかけたりしない
● 浴室など湿気の多いところには本体および壁スイッチを据付けない

注意

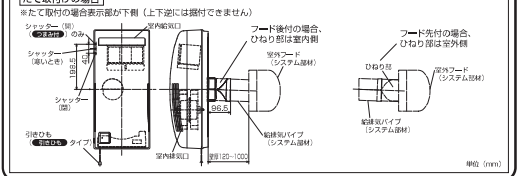
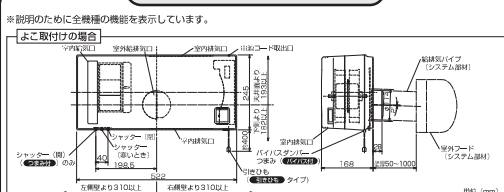
- 電源100Vを使用する
● 外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を含み込まない
● 本体の据付けは十分な強度のあるところを避けて行う
● 据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る

1. タイプ別の違い

タイプ別に違いがありますので、あらかじめ形名を確認してください。

Table comparing features of different models (e.g., VL-08PS3, VL-08ES3) across categories like '標準仕様', 'オプション', and '専用部品'.

2. 外形寸法図



3. 同梱部品を確認してください



システム部品(別売)が必要で

Table listing system parts for different models, including remote controls and power cords.

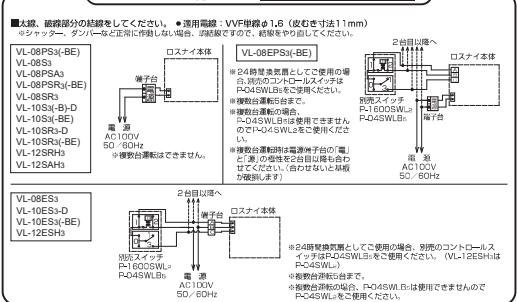
4. 据付けの前に

- 1. 取付板をはずす
2. パネルをはずす
3. 端子台カバーをはずす

5. 据付方法 5-1を確認、裏面を見る

室外フードを本体よりも先に据付けるか(フード先付け)、後に据付けるか(フード後付け)によって据付方法が異なります。

5-5-1. 結線図 100V専用・誤結線注意



6. 据付け後の確認

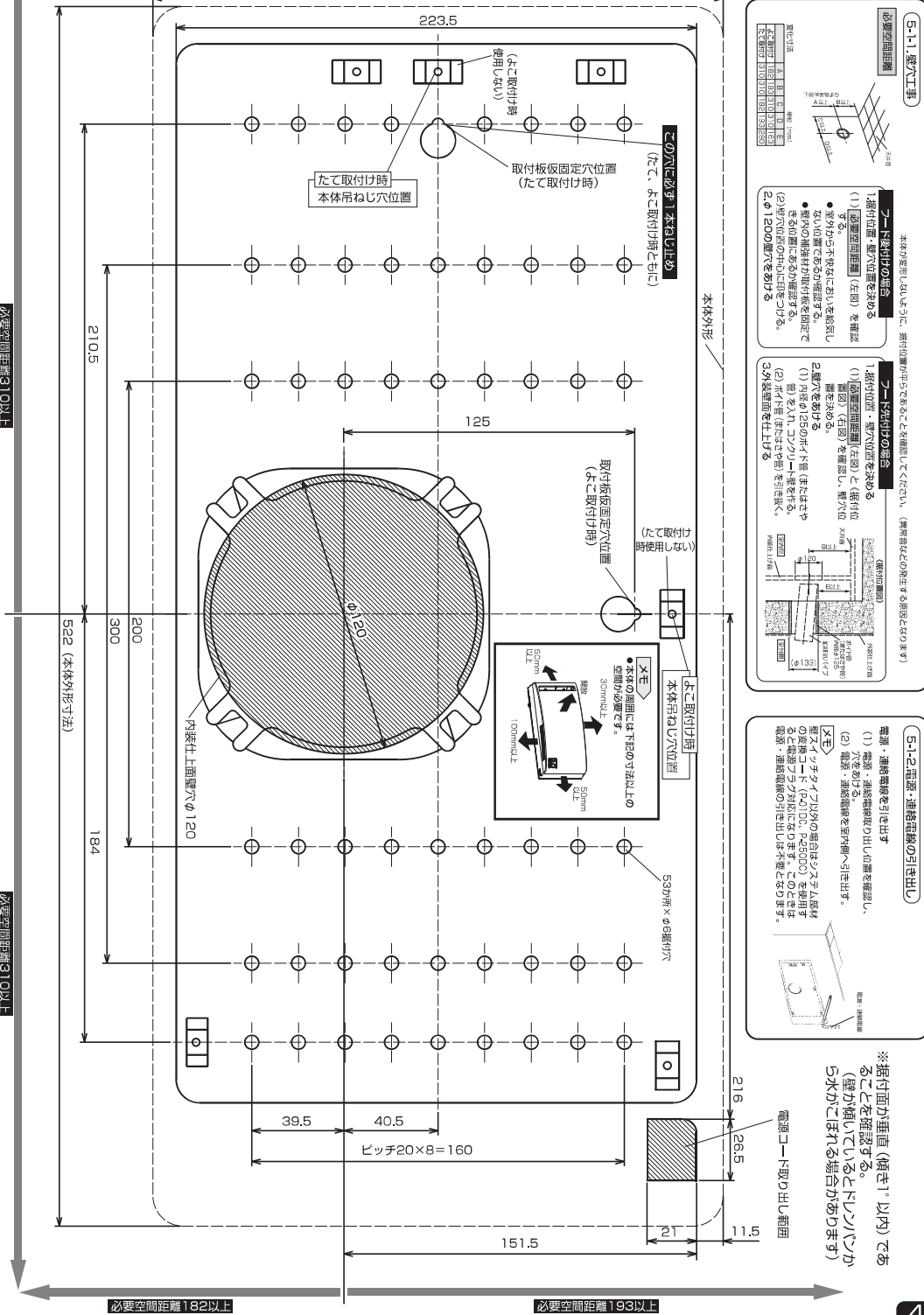
据付け終了後、試験運転前にチェック表にしたがって点検します。

Checklist table for post-installation verification, including items like '電源の接続', '配線の確認', and '動作確認'.

7. 試運転

- できる限りお掃除立会いで、試験運転を行ってください。
1. 電源を入れる
2. 運転状態の確認を行う
3. 異常発生時の対応

たて(袖壁)取付けの場合(↑矢印の方向を上にしてください。)*この方向で据付けてください。(逆方向に据付けるとドレンが逆流し、内部を汚します)



5-1-1. 取付工事

必要空間距離182以上

1. 据付け位置・固定穴位置を定める

2. フード取付の位置を定める

3. 電源・連絡配線の引き出し

※据付面が垂直(傾き1°以内)であることを確認する

電源コード取り出し範囲

必要空間距離193以上

必要空間距離182以上

取付方法

フード後付けの場合

本体を壁に取付けた後で、フードを取付ける施工方法です。
※説明に使用しているイラストは排湿タイプの場合

5-1.壁穴工事

- 5-1-1.壁穴工事
- 5-1-2.電源・連絡電線の引き出し

裏面を見る

5-2.据付け前の準備

1. 接続フランジにバックシムを入れる

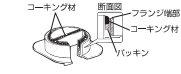
接続フランジのパイプ接続側の溝にバックシム(内側)を入れる。



- このバックシムはパイプにこう配をつけるために入れる。
- 本体の据付方向とバックシムの位置がちがいます。

2. コーキング材の塗布

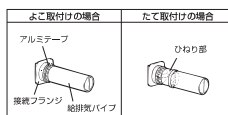
接続フランジにコーキング材を塗布する。



- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないとう雨水が漏入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。

3. 接続フランジを給排気パイプに取付ける

(1) 給排気パイプを接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。



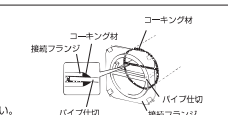
(2) 接続フランジと給排気パイプの間に同様のアルミテープ(大)を巻き付けて確実に固定する。

- 確実に固定しないと、ドレン水(※排水パン)が漏れるおそれがあります。

●ただし取付けの場合必ず「D」ねじが室内へくように差し込んでください。

4. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

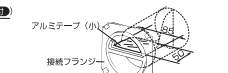
接続フランジと給排気パイプの接続部を内側からコーキングする。



- コーキングをしないと雨水が漏入します。
- コーキングをつけたあと表面を平らにしてください。
- コーキングが接続フランジよりも厚く塗らなければなりません(ドレン水(※排水パン)が排出されません)

5. アルミテープの貼り付け (たて取付けの場合※排水パン)

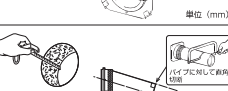
同様のアルミテープ(小)を図のように貼る。



⑤(情報) ●ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。

6. 給排気パイプを切断する

(1) 壁厚を測る。

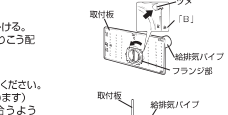


(2) 下表の寸法で給排気パイプを切断する。(※室外フードによって切断寸法が異なります)

	室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm	
防火ダンパーなし	壁厚+30mm	

7. 給排気パイプを取付板に固定する

(1) 給排気パイプを取付板に差し込む。



(2) 左回りに回転させて、接続フランジをツメに引っ掛ける。

(3) 給排気パイプが正確な位置に室外側側に向かって下りこぎになっているか確認する。

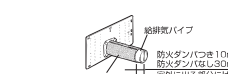
●フランジにツメが4か所ともかかっていることを確認してください。(製品背面が押かれてシャッター動作不具合の原因になります)

●取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。

●給排気パイプが正確な位置にない場合、ドレン水の逆流(※排水パン)や雨水が漏入します。

8. 断熱材の切断

断熱材を断熱寸法で切断する。



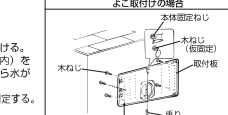
●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

5-3.取付板の取付け

取付板を固定する

(1) 給排気パイプを壁穴に通す。



(2) 取付板を木ねじ1本で仮固定する。(最後に締めつけてください)

(3) 本体固定ねじ1本を本体用として取付板に取付ける。

(4) 重りを吊り下げて、取付板の水平(傾き1°以内)を確認する。(本体が傾いているとドレンパンから水がこぼれる場合があります)

(5) 室内の補強材のある位置に木ねじ4本で取付板を固定する。

(6) △列中央を木ねじ1本で固定する。

●できるだけ4か所の均等な位置に固定してください。

●コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)

●たて取付けの場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。

●電源・連絡電線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。(取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出穴が本体からみ出してしまう場合があります)

●アルミテープの貼り付け (排水パン) ※たて取付けの場合も同様のアルミテープ(小)を図のように貼る。

⑤(情報) ●ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。

5-4.本体の据付け

本体の固定 ※電源プラグ付に変更する場合は、用い5-6.電気工事を行う。

(1) 電源・連絡電線が引込口から本体内部に引き込む。

●本体と取付板との間に合わせ木ねじ1本をつけてください。(電源プラグ付に変更の場合不要)

(2) 取付板の本体固定ねじを本体に引っ掛ける。

●ドレンパンの先端を給排気パイプのクッションを押し込ませないように注意してください。(※排水パン)

(3) 本体を壁面に押しつけて本体固定ねじ4本で固定する。

●軸長150mm以上のドライバーを使用してください。

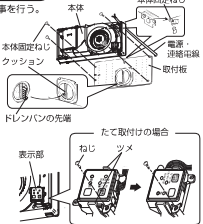
●本体を用いるず本体固定ねじは仮固定ですので必ず本体を手で支えてねじ固定してください。

●たて取付けの場合

(1) 表示部のねじ1本を取りはずす。

(2) 表示部を本体のツメ2か所から取りはずして向きを変える。

(3) 両面本体のツメ2か所にはめこみ、ねじ1本で締めよう。



5-5.電気工事

●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因)

●端子台接続部のある機器は、指定の電線を使用して、抜かないように確実に接続する (接続し不備があると火災の原因)

●電気工事は電気設備の技術基準等と内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工士)が安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因)

1. 結線をする

(1) 電源・連絡電線を結線 (裏面5-5-1) のとおりと結線する。

(2) 端子台から電線が抜けないことを確認する。

●電線100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因)

●端子台接続部のある機器は、指定の電線を使用して、抜かないように確実に接続する (接続し不備があると火災の原因)

●電気工事は電気設備の技術基準等と内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工士)が安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因)

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

●断熱材は室外へ出る部分には巻き付けません。

5-6.パネルの取付け

1. パネルのワイヤー (落下保護用) を本体のスタップに取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

●本体のワイヤーを落下保護用に取付ける。

5-7.室外側工事

1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間を市販のコーキング材でふさぐ。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

●すき間をふさがないと雨水が漏入します。

5-8.室外側工事

2. 室外フードの取付け

室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

●室外フードの取付説明書に従い室外フードを取付ける。

フード先付けの場合

マンションで外気工事を先に仕上げる場合、フードを先に取付けておくことができます。以下はマンションへの取付けを想定して説明しています。

5-1.壁穴工事

- 5-1-1.壁穴工事

裏面を見る

5-2.据付け前の準備

1. システム部材の用意

取付けには別売の室外フード、給排気パイプ、パイプ固定板が必要となります。機種に適合するシステム部材を用意してください。

●穴角に丸形フードを使用する場合は、システム部材のフード取付板P-700Tの使用をおすすめします。

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部材の用意

●システム部